

市民と森林をつなぐ国際森林年の集い

in おおさき



2011・国際森林年

日時 平成23年10月23日(日) 13:30~16:00

会場 パレットおおさき多目的ホール

(大崎市古川穂波3-4-20)

入場無料、定員350名(事前申し込み)

同時開催
森林のめぐみ
展示会

2011年は国際森林年です。「市民と森林をつなぐ国際森林年の集いinおおさき」は大崎市、宮城県、農林水産省が主催する国際森林年記念事業です。

去る3月11日発生の大東日本震災での被害は未曾有のものでありましたが、その後、被災地とその周辺地域を中心に森林・林業・木質バイオマスを活用した復旧や復興支援も徐々にはじまってきました。

このつどいでは、持続可能な森林管理と利用についての「次世代への継承」をキーワードとして、環境保全と森林資源の恩恵を活用する人達により、流域ごとに森林の役割とこれからの森の恵みについて考えていきます。併せて、このつどいに先立ち、市民や企業・団体等による植樹活動や森林体験イベントも開催されます。

■ プログラム ■

1. オープニング ミニ・コンサート

ミュージカル「葉っぱのフレディー いのちの旅ー」より
2011フレディーズ(国際森林年子ども大使)

震災から7ヶ月余り。東北地方が美しい“彩(いろ)”を一日でも早く取り戻すことを願って、フレディーズの子どもたちが四季を綴るミュージカルナンバーを演じます。

2. 記念講演 「森林の役割とこれからの森の恵みを考える」

皆川芳嗣 氏(林野庁長官)

林野行政の立場から、震災復興と絡めて森林の役割と恵みの活かし方について講演いただきます。



記念講演：皆川芳嗣 林野庁長官



2011フレディーズ

3. パネルディスカッション おおさきの森の恵みをどう活かすか

林野庁長官と、大崎市に拠点をおいて農村のフィールドワークをされた、あん・まくどなるど氏を招き、地元産材利用と森林の多様性復元について研究している清和教授のコーディネートで、木材利用の上流側として地元の林業研究会会長、下流側として地域色あふれる道の駅を運営している上品の郷の太田駅長とともに、森の恵みの活かし方について考えます。

コーディネーター： 清和研二氏(東北大学大学院農学研究科教授)

パネラー： 皆川芳嗣氏(林野庁長官)

大場雅之氏(上流域から、鳴子林業研究会連絡協議会長)

あん・まくどなるど氏(中流域から、上智大学大学院地球環境学研究科教授)

国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長)

太田 実氏(下流域から、道の駅 上品の郷駅長)

お申し込み FAX : 0229-23-7578

大崎市産業経済部農林振興課

e-mail: nourin@city.osaki.miyagi.jp

いずれもお申し込みが必要です。①お名前②ご所属③連絡先(メールまたは電話)を明記の上、FAXまたはE-mailでお申しください。定員350名になり次第、申し込みを締め切ります。

主催：大崎市

共催：宮城県、農林水産省、国際森林年国内委員会事務局

後援：大崎森林組合、おおさき材利用ネットワーク、鳴子林業研究会連絡協議会、岩出山林業研究会、市内各農業協同組合、市内各土地改良区、市内各地域緑化推進委員会、株式会社オニコウベ、リサイクルデザイン工房、NPO法人鬼首山学校協議会、NPO法人宮城まちづくり協議会

問合せ：大崎市産業経済部農林振興課 TEL : 0229-23-7090

